



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.43
令和5年11月10日
文責：校長 酒井 健

◇かわいい子どもたちが橋小学校に！「就学時健康診断」

11月2日(木)、橋小学校では「就学時健康診断」が行われ、来年度の新入生のお子様たちと保護者の皆様がたくさんおいでになりました。少し緊張気味の子どもたちでしたが、6年生のお兄さん・お姉さんたちのお世話のもと、それぞれの検査を行うことができました。補助としてお手伝いしてくれた6年生の皆さん、さすが最高学年の皆さんでした。ありがとうございました。

また、保護者の皆様方には集会ホールにおいて、生涯学習課社会教育指導員：市川 潤一先生の「就学前子育て講座」に参加していただきました。

来年の4月には橋小学校に入学して、力いっぱい、元気いっぱいに生活してほしいと願っています。



◇『おはなしたまご』の皆さんの「読み聞かせ」や「語り」に集中です。

11月6日(月)、7日(火)、9日(木)の3日間で、低・中・高に分けて、全校生を対象に「おはなしたまご」の皆さんに読み聞かせをしていただきました。

「おはなしたまご」さんは、郡山市を中心に、学校や幼稚園・保育園、または図書館などで、子どもたちに「読み聞かせ」や「ストーリーテリング」(語り)をしていただいているグループです。活動を始めて31年になります。

読み聞かせ、ストーリーテリングは、聞いている子どもたちの目を輝かせます。お話を聞いている時の子どもたちは、頭の中で、場面を想像したり、情景を思い浮かべたりしています。そして、心を揺り動かしています。とても大切なことですね。

現在、スマホ、タブレット・・・ゲーム、YouTube・・・つまり映像を受け止めるだけの世界が、子どもたちの間でも大きく広がっています。そのような中で、頭や心の中で、想いを豊かに広げることができることは、子どもたちにとって、とても貴重な体験だと思います。



【校長のひとりごと】

北校舎3階の廊下に掲示されているポスターです。

「遠くからじゃ分からない。あなたは気づいていますか？」と書かれていますね。また、太文字で「もっとよく見て」とも書かれています。この写真では分かりませんが、女の子の頭の上には、小さい文字で、こう書かれています。「今、いじめられています。誰か助けてください」・・・本当に遠くからだと分かりませんが、この女の子の髪、そして洋服には、言葉がたくさんちりばめられています。

髪の毛の部分・・・「キモい、雑魚、空気読め～、カス、うざい、殺す、ノロマ、触るな、どんくさい・・・」など

洋服の部分・・・「助けて、苦しい、誰か気付いて、話を聞いてください、早く楽になりたい、悲しい、苦しい・・・」など

この女の子の表情は、微笑んでいますよね。しかし、これは作り笑顔なんです。心の中は張り裂けそうなんだと思います。私たち大人は、子どもたちのちょっとした仕草や表情、言動の変化にいち早く気付いていくことが大切です。耳では聞こえない心のSOSに気付く感性をもたなくてはなりません。目の前の子どもたちが安心して生活できる学校であり続けるために、私たちは、この『気付く感性』を磨いていきます。

